

自然環境局野生生物課

1. 事業の概要

(1) 特定外来生物防除直轄事業

以下の重点地域において環境省直轄により防除事業を実施する。

奄美大島及び沖縄本島やんばる地域において、希少野生動物等を捕食するジャワマングースの完全排除を目指し、集中的なワナの配置や移動抑制柵の設置など戦略的に防除事業を実施する。

ラムサール条約湿地など環境省が所管する保護水面や環境省レッドリスト掲載種の生息地においてオオクチバス等の防除事業を実施する。

国立公園等保護上重要な地域のうち特に重点的対策を要する地域において、外来生物対策の検討・防除事業を実施する。

(2) 広域分布外来生物防除モデル事業

都道府県の区域を越えて広域に分布して被害を及ぼすおそれがあるアライグマ、カミツキガメ、アルゼンチンアリ等の特定外来生物について、地方公共団体と連携した防除のためのモデル事業を実施する。その成果を防除手法のマニュアルとしてとりまとめ、各地の防除に活用する。

2. 事業計画

(年度)

	17	18	19	20	21	
(1)特定外来生物防除直轄事業	→					
沖縄・奄美地方マングース防除	→					
オオクチバス等防除推進事業	→					
国立公園等外来生物重点防除事業	→					
(2)広域分布外来生物防除モデル事業	→					
アライグマ防除モデル事業	→					
カミツキガメ等防除モデル事業	→					

3. 施策の効果

重点地域における集中的な防除の実施により、完全排除への道筋をつけるとともに、国や地方公共団体等、各主体の役割に応じた総合的・効果的な防除の推進方策を明らかにすることにより、外来生物による日本の生態系等に係る被害を低減し、被害の拡大防止を図る。

外来生物の防除について

特定外来生物防除等推進事業

環境省直轄防除事業

- ・マングース防除(奄美・やんばる)
- ・オオクチバス防除(ラムサール湿地等)
- ・国立公園等重点防除(知床、小笠原、西表)

広域分布外来生物 防除モデル事業

- ・アライグマ
- ・カミツキガメ
- ・アルゼンチンアリ
- ・セアカゴケグモ

